



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度
国際ロータリーのテーマ
Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
輝いて!! 行動しよう!!
～Go Go Go～

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：伊藤 豪
幹事：梅村 昌孝
クラブ広報委員長：田中 宏
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋1504号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1743回例会

～親睦活動月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年6月2日(木) 晴れ 第42回

司会：湯澤信雄会場副委員長

斉唱：「それでこそロータリー」

ゲスト：日本赤十字社愛知県支部

救護・事業推進課長兼企画業務課長 藤居靖幸さん

会長挨拶

伊藤豪会長

皆様こんにちは!!今日は、5月29日から31日まで、韓国で行われたロータリー国際大会に行って参りましたので、その報告をさせていただきます。参加者は、鈴木淑久さん、森裕之さん、堀慎治さん、村上学さんと私、5名で行って参りました。会場は、仁川空港から北へ約30Km(車で約40～50分)の距離にある、巨大コンベンションホール「KINTEX」は二ヶ所から成っており、第1会場は広さ54,000㎡(2005年4月オープン)、第2会場は広さ54,500㎡(2011年9月オープン)で、第一会場は直線的な建物、第二会場は円のライン。両会場を結ぶのは、動く歩道で、歩道に沿って立てられている不思議な柱のオブジェと大きな作品群を見ながらの移動です。来場者は40,000人、日本からの参加者は、10,000人だそうです。(公式発表はまだですが・・・)



本年度の国際ロータリーのテーマは、K.R.ラビンドランの「世界へのプレゼントになろう」です。その集大成がこの世界大会です。次年度の国際ロータリーのテーマはジョンF.ジャーム氏の「人類に奉仕するロータリー」です。特に次年度は、ロータリー財団100周年を迎えます。「世界で良い事をしよう」ということで、きれいな水の提供、平和の推進、基本的な教育の提供、ポリオの撲滅、人道的支援を更に推し進めようとのメッセージが込められていました。

各分科会では、未来の日韓関係・米山記念奨学会の成果・東日本大震災におけるロータリーの奉仕活動と復興について、私達の世代で飢餓をなくす等のテーマ毎に活発な意見交換が成されました。次年度の国際大会は2017年6月10日～6月14日にアトランタで行われますので皆様のご参加をとのメッセージが有りました。

一方、ガバナーナイトは、ソウル市内ミレニウム・ヒルトンのコンベンションホールで開催されました。来賓には、昨年10月の地区大会に来て頂いた任昌坤氏(YIM.CHANG.GON)や斉藤バスターガバナーを始め参加者470名、会場が狭すぎて超満員、熱気満々、「点鐘・奉仕の理想」に続き加藤陽一ガバナーより「ただ!!ただ!!遠路遙々この様に多くの皆様に来て頂きお礼の気持ち、感謝の気持ちでいっぱいです」との言葉に始まり、K.R.ラビンドランのメッセージ、ガバナーナイトの歴史紹介の後、宴会が始まりました。途中ポリオ撲滅チャリティビンゴゲームなども有り最後は「2760地区のまとまりは最高・愛知は1つ」の掛け声と「来年はアトランタで会いましょう」で閉会となりました。



ソウル国際大会にて

ニコボックス

渡辺喜代彦ニコボックス委員

・田中宏様、また、委員会の皆様には、いつもご迷惑をお掛けしています。

酒井 俊光さん

・6月26日は誕生日です、よろしく。

長坂 邦雄さん

・6月1日は私の誕生日でした。

平野哲始郎さん

・先月は妻の誕生日にきれいなお花をいただき、ありがとうございました。

湯澤 勇生さん

・奥さんの誕生日にきれいなお花をありがとうございました。平野 好道さん

・本日の卓話を日本赤十字社愛知県支部の救護・事業推進課長兼、企画業務課長の藤居靖幸様よろしくお祈いします。ありがとうございました。

鈴木 圓三さん

・韓国で行われた、国際大会に行って来ました。鈴木淑久さん、森裕之さん、堀さん、村上さん、ありがとうございました。お疲れさまでした。伊藤 豪さん

・先日の国際大会では、伊藤会長、森裕之さん、村上さんにお世話になりました。昨日の朝日市には、多くの方々が顔を出してくれました。ありがとうございました。

鈴木 淑久さん

・あつた朝日市に行って来ました。鈴木淑久さん、ごちそうさまでした。

湯澤 信雄さん

・世界大会お疲れさまでした。

村上 学さん

・明日は、キリンカップサッカー、日本代表xブルガリア、豊田スタジアムです。

山口 哲司さん

・三男の結婚が決まりました。嬉しい事です。ただ、お嫁さんの引きに負けてしまい、残念です。

長谷川 隆さん

出席報告

渡辺喜代彦出席委員

会員67名 出席41名 (出席計算人数45名)

出席率 71.9% 5月26日は補填により 86.5%

幹事報告

梅村昌孝幹事

・本日13:40から第12回理事会をヒルトン名古屋4階「藤の間」にて行います。
・6月9日(木)18:00からなごやか例会をヒルトン名古屋4階「桜の間」にて行います。

委員会・同好会報告

社会奉仕委員会：近藤茂弘委員長

6月9日(木)、6月16日(木)に、どんぐりの植え替えを行いますので、ご参加をお願い致します。

6月誕生日おめでとう

平野哲始郎さん 鈴木 健司さん 松波 恒彦さん
湯澤 勇生さん 長谷川直樹さん 長坂 邦雄さん

米山功労者・ポールハリスフェロー表彰

村瀬俊高さんが米山功労者、ポールハリスフェロー表彰をされ、伊藤会長より記念品を贈呈されました。



卓話

日本赤十字社の活動について：日本赤十字社愛知県支部

救護・事業推進課長兼企画業務課長 藤居靖幸さん

皆様こんにちは。皆様は「赤十字社」というと、どのようなイメージをお持ちでしょうか。多くの方は病院や献血を想起されると思いますが、本日はその他の活動についてお話しさせていただきます。

赤十字社は3つの活動領域、9つの事業を展開しております。3つの活動領域は、「いのちを救う活動」「せいかつを支える活動」「ひとを育む活動」です。「いのちを救う活動」としては、熊本地震などの国内災害救護や、海外の災害、紛争での被災者を支援する国際援助活動、献血、病院運営や、講習普及事業を行っております。

「せいかつを支える活動」は、ボランティアに協力して頂き、地域に根ざした活動をしております。「ひとを育む活動」は、学校教育を通じて、青少年の健全な育成に寄与しております。日本赤十字社では、世界中で苦しんでいる人を1人でも多く救う活動を「人道」という理念のもと実施しております。

東京港区の日本赤十字社本社は、全国的な活動、国際的な活動に重きをしております。一方で47都道府県にある支部は主に、所在する都道府県での活動を実施しております。

愛知県支部では、近い将来必ず起こると言われる、南海トラフ地震の対応準備を活動のメインにしております。南海トラフ地震が起きると、愛知県内では約2万5000人の方が亡くなると想定されております。一番多いのは静岡県で、予想では11万人の方が亡くなるということです。しかし想定死者数は、日ごろの防災、減災活動をする事によって下げられます。

主な活動の財源は、病院や献血、看護師の養成事業につきましては独立採算ということで運営をしております。それ以外の事業、特に災害救護や防災・減災等の事業につきましては、皆様からの会費や寄付からなっている団体でございます。

5月は赤十字運動月間ということで、皆様がお住まいの町内会、自治会の方々にご協力をいただき、500円ずつご協力頂いております。しかし、昨今では少子高齢化ということで、地域からのご協力は減少傾向にあり、企業・法人からのご協力が非常に重要な財源になってきています。

愛知県支部での事業規模につきましては、年間約11億円程の活動をさせていただいており、本社、支部を集めると750億円程になります。



最近では、熊本地震で救護活動を行いました。前震の際は、九州エリアの支部のみで災害対応が出来るかと想定したため、愛知県支部から要員を派遣することは考えておりませんでした。しかし、2日後深夜の本震で様相が大きく変わり、日本赤十字社は全国で対応する方針に切り替えました。

今回の地震は、阪神淡路大震災等と比較して死者数は少ないですが、家屋の損壊が多く、非常に多くの避難者が発生したという特徴があります。また、非常に大きな余震が長期間に亘って続いたため、避難者がなかなか自宅に帰れない状態が続きました。私達日本赤十字社では主に、益城町、西原村、南阿蘇といった断層の真上にあった被害が大きいエリアを担当致しました。地震発生直後から、1日に25班の医療救護班が全国から集合して活動しておりました。

被災者は、長期に及ぶ避難生活で心に大きなダメージを受けています。そういった方のお話しをお聞きする事で、苦しみを軽減するところのケアチームが、今も被災者に寄り添った活動をしています。また、避難所での健康支援活動として、エコノミークラス症候群の予防活動や、ボランティアによる物資の配布等さまざまな活動をさせていただきました。

4月15日から6月末まで、熊本県と大分県の被災地の方々を対象とした義援金を募集させていただいております。

赤十字社は全国に92の病院を有しており、災害時は、医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名の医療救護班を派遣します。5月末の時点で182班2000名の医療救護班が活動しております。救護物資は毛布と簡単なマットレス等の安眠セット、歯ブラシや衛生用品を揃えた緊急セットなどを皆様のご支援で整備しております。その救護物資は、全国から九州に配布いたしました。

義援金は多くの方から寄託を受けており、5月17日現在で114億円となりました。国内外から預かった義援金は被災した県の配分委員会にお送りさせていただきます。義援金は被害の程度によって、被災者の方々に配分されます。一方で、日本赤十字社の被災地での活動資金、救護物資の費用につきましては、日頃から皆様にご寄付いただく会費等でまかなっております。

RCや企業のご協力の一例をご紹介します。最近、メーカー様が販売する商品や、ビルやオフィスにある自動販売機に赤十字支援マークを入れ、売り上げの一部を寄贈いただく形が増えております。資金の提供以外にも、ホームページや名刺に赤十字支援マークをご記載をいただいたり、団体献血ご協力などの活動をPRしていただく事もあります。また、プロスポーツチームと一緒に社会貢献をするCSR活動で、若年層の方々の社会貢献活動参加を促す事もしております。

最後に日本赤十字社の活動は皆様の資金援助によって成り立っています。苦しんでいる方々に手を差し伸べるには継続的な支援が非常に大切になってきます。本日のお話しで、少しでも頭に引っかかった事があればご一報頂き、色んな形で援助して頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

(連絡先：日本赤十字社愛知県支部 藤居靖幸 052-971-1596)

例会のご案内

■今週の行事

6月9日(木) なごやか例会

場 所： ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間： 18:00～20:00

■次週の卓話

6月16日(木)

テ ー マ： 新会員イニシエーションスピーチ
会 員 卓 話： 鈴木 伸一さん

■次々週行事

6月23日(木) 第5回クラブフォーラム

内 容： 次年度行事予定